

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業効果検証シート
(R5年度事業分)

		担当課	健康管理課											
交付対象事業名	みどり市元気プロジェクト			R5 事業費 (円)	計画額	5,872,000								
	総合戦略の位置付け				実績額	5,741,779								
	事業実施期間				交付額	2,870,889								
事業概要	日常的な活動量の増加や運動習慣の定着による生活習慣病予防や介護予防を推進するとともに、地域の活性化を図ることを目的とする。 活動量計を貸与し、無理のない範囲でのウォーキングを推奨するとともに、体組成や血圧の測定スポットを市内5カ所に設置し、測定を奨励している。ウォーキングや測定結果データはインターネット上に保存され、個々の健康管理に活用できる。また、参加者へのインセンティブとして、歩数や体組成測定状況等に応じてポイントを付与し、地域で使用できる商品券と交換する。													
	<ul style="list-style-type: none"> ・4月限定で参加者からの紹介により新規参加者を募集する「紹介キャンペーン」を実施 ・6月～8月に新規参加者を募集し、初回説明会で事業説明、体組成・血圧測定、歩き方講座、栄養講座を実施 ・歩数を増やすナッジとして、健康ポイントを1,000歩ごとに1ポイント付与（3,000～8,000歩で1日最大3ポイントから6ポイントに引上げ） ・体組成・血圧測定を促すため、体組成の結果表を打ち出す「測定ウィーク」（9回/年）、「測定月間」（3回/年）を実施 ・働き盛り世代への周知として、ショッピングモール（2か所）で「出張測定会」を実施 ・元気プロジェクト通信で参加者へ情報発信（3回/年） ・参加者が自ら振り返りできるように、蓄積された測定結果をグラフ表示できるアプリを周知 ・アプリのポップアップ機能を活用し参加者に情報発信 ・バーチャルウォーキングイベント（歩数に応じて進むWeb上の仮想旅行。ランキング有）を実施 ・健康ポイントを協力店舗で使える「元気アップ商品券」に交換 ・観光課のパンフレットに歩数や消費カロリー等の健康情報を掲載 ・作成したウォーキングマップを参加者及び希望する市民に配布 													
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数（令和5年度末時点）721人 うち新規参加者97人 ・運動に対する意識の高い人の割合：97% 事後アンケート（回収率24.6%）より ・理想歩数（8,000歩）達成者数 305人 ・「元気アップ商品券」交付枚数 3,367枚 													
重要業績評価指標(KPI)	指標(単位)		開始前(R1)	R2	R3	R4	R5	R6						
	健康増進及び健康寿命延伸者(人)(1日平均8,000歩達成者数)	目標値	86	111	136	160	183	204						
		実績値		143	183	269	305							
	健康ポイント交換数(ポイント)	目標値	0	589,500	623,100	752,700	874,200	987,600						
		実績値		199,750	294,750	328,000	841,750							
取組の検証	ウォーキング事業参加者数(人)	目標値	580	740	910	1,070	1,220	1,360						
		実績値		542	659	719	721							
	市民活動に参加した市民の割合(%)	目標値	11.8	13.53	15.26	16.99	18.72	20.45						
		実績値		11.7	9.0	11.4	13.6							
今後の事業展開の方針	事業効果	③地方創生に効果があった												
	課題・改善点	参加者数が、伸び悩んでおり目標値を達成できていない。特に40～50歳代の参加者が横ばいであり、ショッピングモールで「出張測定会」と事業周知を行ったが、参加者増には結び付かなかった。新規参加者の多くが65歳以上であり、「初回説明会への参加が必要」などの実施方法を検討する必要がある。 しかし本事業参加者の継続率は86.8%と高い。また年度末にとったアンケートでも歩くことや食事などを見直すきっかけになるなど、満足できる事業である。ターゲット世代や新規参加者を増やすことが課題である。												
<事業効果>														
①地方創生に非常に効果的であった		例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合												
②地方創生に相当程度効果があった		例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合												
③地方創生に効果があった		例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合												
④地方創生に対して効果がなかった		例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場												
今後の事業展開の方針	③事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））													
	(理由) 働き世代（40～50歳代）が参加しやすい実施方法を検討する。（アプリ導入、初回説明会の省略など）付与したポイントで地域で使用できる商品券を交換するインセンティブを継続する。													
<今後の方針>														
①事業の継続（計画通りに事業を継続する（または、概ね同内容で継続する））														
②事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）														
③事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））														
④事業の縮小														
⑤事業の中止（継続的な事業実施を予定したが中止する（または、した））														
⑥事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））														
外部有識者会議による評価														
意見														

①KPI達成に有効であった
②KPI達成に有効とは言えない